

JAAGA 創立 30 年に寄せて



第 10 代会長
岩 崎 茂

全国の JAAGA の会員の皆様、こんにちは。

今年で JAAGA が創立されて 30 年とお聞きし、えっ？もうそんなに年月が経過したの？と思いました。あっという間の 30 年でした。私は、いつの時点で入会したのか明確に覚えておりませんが、ある時、順番？回ってきて JAAGA 会長を幸運にも 3 年に亘り務めさせて頂きました。皆様ご承知のとおり、JAAGA は資産をほぼ所有しておりませんので、JAAGA として、どこかを訪問する際には、ほとんどの場合には、各自で支払うか、各自が勤務している会社をお願いしないといけませんが、私は幸運にも退官後、お世話になっておりました(株)ANA ホールディングスのご理解もあり、JAAGA の主要行事である米国訪問行事(米国 DC 訪問＋米空軍部隊訪問＋AFA 会議・展示会への参加)及び JAAGA に貢献してくれた日本各基地等で勤務している米空軍の隊員や航空自衛隊の隊員の表彰等の為、日本各地を訪問することができ、現役時代には経験できなかったことも経験できました。お陰様で、いろいろな場所を訪問することができ、現役時代には出来なかったいろいろな経験を積むことができました。JAAGA には感謝しかありません。今回は、わざわざ書面を頂きましたので、私の JAAGA に関する思いを徒然なるままに書く綴ってみたいと思います。

まず最初に、私が、JAAGA とお聞きし、なんの略なんだろうと思いました。Japan や America、そして Air Force はある程度想像できましたが、“G”は？、最後の“A”は多分 Association と思いますが”G”がわかりませんでした。そこで、ある先輩にお聞きしたら、“G”は Goodwill でした。素晴らしい言葉です。通常であれば、いろんな友好団体は Friendship とかを使っている場合が多いのですが、“Goodwill”。なんと素敵な命名

なんだろうと思いました。初代の会長は、現役時代にご指導賜りました大村平空幕長、副会長は鈴木昭雄空幕長、理事長は石塚勲防衛部長・総隊司令官・空幕長(全て私がお仕えした際の職)でしたので、このお三名でお考えになられたのかなと勝手に理解しております。

私は、不届きなことにJAAGAのいろいろな役職を経ずに 2016 年から JAAGA 会長を 3 年もの機関仰せつかりました。この間、無事に役職を全う？できたのは、当時の森下・渡辺・長島副会長や小野田理事長等に支えて頂いたお陰だと感謝しております。

私が JAAGA 会長に就いて間もなく、JAAGA の大きな行事がありました。“JAAGA 創立 20 周年記念行事”です。私は JAAGA のことはあまり知らず、不安がいっぱいだったことを覚えています。しかし、すべての準備は私の前任である外衛会長以下の役員の方々がしっかりとやってくれておりましたので、私の任務は、式典当日の式辞のみ。当時のことは今でも鮮明に記憶しています。この書面の冒頭で、えっ？もう 30 年と書いたのは、あの大汗をかいた日からもう 10 年も経過？と感じたからです。

また、私が会長の期間中に、会長として米国訪問を四回、日本各地を 10 ヶ所以上訪問することができました。米国訪問が多いのは、日本向けの F-35 の初号機がロール・アウト式典があったからです。式典は、テキサス州のロッキード・マーチン社で行われました。大変すばらしい式典でした。また、その際工場も見学させていただきましたが、日本向けの二号機、三号機、四号機も拝見することができました。その中で、うん？と思ったことが一点ありました。濃い青色の翼が見えたんです。そうです、我が国の F-2 の主翼です。私が空幕長当時被災した F-2 の主翼を米国のロッキード・マーチン社が再生産してくれていたのです。もともとは、私が米国に再生産をお願いした経緯があり、そのことをあまり認識せずに米国を訪問しておりやや恥ずかしい思いがしましたが、びっくりでした。JAAGA のお陰です。

そして、日米の各地基地等を訪問し、各隊員と懇談をさせてもらいましたが、現役時代には得られない隊員の思いや・要望等に触れることができ大変有意義な部隊訪問でした。その際、懇談した中の何人かは、今でも交流を続けております。私にとって貴重な財産となっています。この様に、私にとって JAAGA は大変貴重な存在になっています。

JAAGA 創立 30 年になりましたが、JAAGA はこれまで空自のために、日米空軍職種連携強化のため、そして日米連携のために貢献してきたことは紛れのない事実であり、JAAGA が、今後とも益々発展することを信じてやみません。ただ一点心配なことが、会員数がなかなか増えないことであり、寧ろ減員傾向にあるとのこと。是非、皆様方、一人でも多くの後輩に声掛けをしましょう。